

ルール要点

公式戦(3人対3人)で競技する場合のルールの要点を抜粋、説明します 黄チーム 2点-0点 赤チーム

●競技方法

1人が2ヶのストーンを持ち、1チーム3人づつが対戦相手と交互に2投づつ投球、1エンド合計12投します。6人が投げ終わった後、ハウス中心に一番近いストーンของทีมが勝ち、相手より中心に近いストーンの数点数になります(図1)。8エンド行い合計点で勝敗を決めます。敗戦チームは必ず1エンド0点になります



図1

●滑らせる

姿勢
左手
右手

1、的に向かって真っすぐ立つ(座る)
2、左手は台の上に置く(図2)
3、右手は図3、図4の形です
力の弱い方は特例(※注1)で手を横にし、手首を使いますが、方向性が悪くなります。試合前に指導員に必ず申し出、指導を受けてください。



図2

上図3、下図4



モーション

4、図2、3の形から、狙う方向に真っすぐ、2、3回モーションし押し出す様に滑らせます。

※注意1

お子様や、力の弱い方の横投げは大変危険なので十分注意してください。必要以上にスピードが出てしまい、ストーンが飛び出してしまう恐れがあります。

●プレーゾーン

プレーゾーンは図5ハウス上部の青線(バックライン)から図5最下部赤線(ホッグライン)です。

ホッグラインまで届かない⑤とバックラインを越えた④ストーンはアウトとなります



図5

図7

※注意2

ラインに接触していればセーフとなります。真上から見ます。横からだ線以上でなくても、上から見ると線上です。

アウトになったストーンはフロアから速やかに取り除きます

フリーガード
ゾーンルール

1. これは最初の一投者(リード)の1投目と2投目だけに適用されるルールです。セカンド、スキップは適用外です

2. フリーガードゾーン内(右図赤線内)の相手ストーンを直接、間接に当てて出し、アウトにすると、当てたストーンがアウトになり、当てられた相手のストーンは元に戻ります。但し当てたストーンがハウス内に残ったのはセーフでそのまま続行します。又リードの投球がハウス内に残ればセーフですが、相手はこれを出すことができます

フリーガードゾーンは赤線内です斜線部分はアウトです

右図のストーンは当てられた相手のストーン位置です

①セーフ ②アウト ③セーフ ④アウト

ストーンの
転がり

投げたストーンが転がった場合はそのストーンはアウトになり速やかに取り除きます。当てられたストーンは元に戻ります

スカートからの
跳ね返り

強く投げたストーンは、安全のために作られたスカート、セーフディッチで跳ね返って中に入ることがあります。跳ね返ったストーンはアウトでそのストーンに当たったストーンは元に戻ります

エプロンの利用

エプロンを利用しストーンを反射させる攻撃は、攻略法の広がり、高度なテクニックが身につくことになり、カーレットでは重要な要素になります。

※注意3

カーレットはフェア精神で競技します。判定は相互のチームで決めます。どうしても判断がつかない場合は第三者、或いは指導員から助言を得てください